

新本牧地区の統計データ

人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	9,627	1,645	6,513	710	759	15.3	4,099	2.35
H27.3	9,415	1,461	6,180	917	857	18.8	3,976	2.37
H31.3	9,287	1,319	5,911	1,024	1,033	22.1	4,079	2.28



新本牧地区

5年後の目指す姿

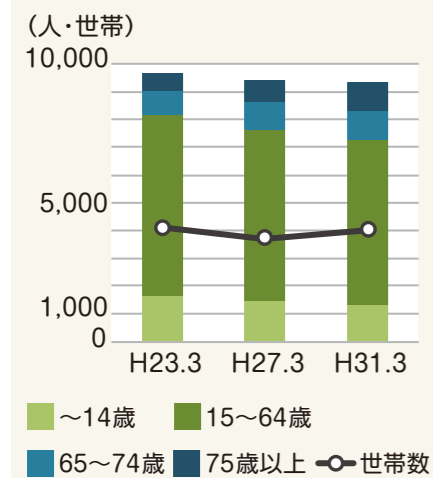
新本牧は「あいさつ」でまちづくり
～広げよう！つなげよう！「人の和」～



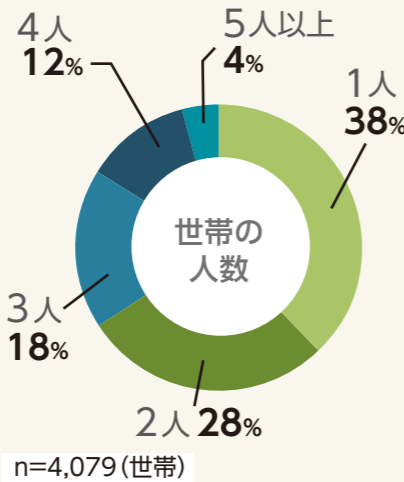
本牧ライトアッププロジェクト ▲

みどり会(地区社協)のお弁当配布 ▲

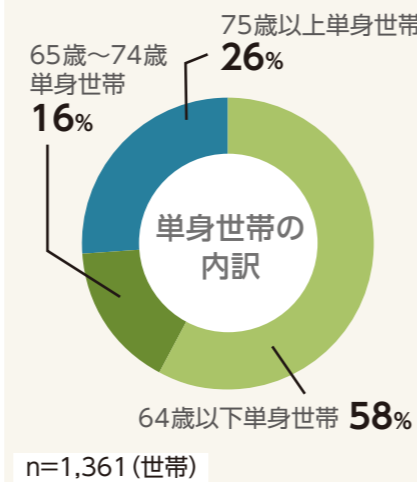
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数総数(世帯)	単身世帯総数(世帯)	単身世帯割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	4,030	1,301	32.3	218	393	404
H31.3	4,079	1,361	33.4	238	421	408
R2.3	4,100	1,378	33.6	245	441	418

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数

(H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	543	5.7
1年未満	783	8.3
1年以上5年未満	1,962	20.8
5年以上10年未満	1,475	15.6
10年以上20年未満	1,800	19.0
20年以上	1,317	14.0
居住期間「不詳」	1,569	16.6

データから見た新本牧地区

人口はやや減少傾向にあります。特に勤労世代の人口が減少しており、高齢者人口が増加しています。平成27年には18.8%であった高齢化率は平成31年には22.1%に上昇しています。

単身世帯の割合は33.4%(H31)と低く、世帯平均人数も2.28人と区内では一番多くなっています。14歳以下の子どもの割合も14%と区内では高く、ファミリー層が多く居住していることがわかります。

一方で住民の居住年数を見ると、長年居住している割合が高く、今後はさらに高齢化が加速していく可能性が高いと思われます。

新本牧地区は こんなまちです

米軍の接収地だった土地を新たに開発してできた地域で、開発とともに移り住んだ住民が多いまちです。区画整理により公園や緑に囲まれ、道幅も広く景観が良いのが特徴です。地域の担い手として、現役世代が多く活躍しています。



本牧宮原・本牧和田・和田山・本牧原の一部

これまでの計画(第3期)の振り返り

あいさつ運動を計画前期で実施し地域の子どもたちと住民の交流が少しずつ進みました。

計画前期に小中学生に地域のイベントに参加してもらい内容の充実を図りました。

3地区(第4地区南部、本牧・根岸、新本牧)共催のイベントを開始し5年が過ぎ、地区の住民に浸透していきました。

高齢者食事会や日帰りバス旅行の充実を図りました。

第4期計画はこのようにつくりました

自治会町内会長、地区民児協、区民利用施設や福祉施設などで構成された「新本牧地区元気づくり推進協議会」で実施したアンケートをもとに計画の原案を作成し、それについて再び意見をもらい、計画を完成させました。



本牧ライトアッププロジェクト



みどり会(地区社協)のお弁当配布

nakanaka photo

第4期計画

目標	第4期の取組	取り組む理由	視点
子どもを中心に地域を盛り上げ、困りごとを速やかに察知できる関係を作っていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元の小中学校の行事や取組に関心を持ち、子どもたちとの交流を深め、街中でも気軽に「あいさつ」できる環境を目指します。 ● 中学校の朝の「あいさつ」運動に参加し、顔の見える関係を作ります。 ● 高齢者(食事会・サロン等)の集う場に子どもたちが参加できる機会を増やします。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元の学校と連携し、地域のイベントなどに小中学生が積極的に参加できるような雰囲気になりたい。 ● 全ての世代で困った事があったときに、お互いにすぐ、気づけるよう見守り合いたい。 	えん結び
交流の場を充実し、多世代に渡って助け合えるまちを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域にある施設や団体、企業と協力関係を深め、地域での参加の輪を広げていきます(施設・団体・企業の行事に積極的に共同参加する)。 ● 各自治会のラジオ体操を充実し、健康づくりをしながら様々な世代の交流を深めます。 ● 夏の神社例大祭を通じて住民の交流を促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● イベントに参加する事により、普段からお互いに「あいさつ」し合える関係を作るようにしたい。 ● 交流により親しく知り合い、多世代に渡って助け合えるようにしたい。 	えん結び 元気いっぱい
環境面から住みやすいまちづくりを通して、住民が健康で安全に暮らせるようにします。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各自治会の清掃活動を充実させまち全体をきれいにします。 ● 地区や自治会主催の防災訓練により多くの住民の参加を促していきます。 ● 警察や自転車販売店と協力し、自転車マナー向上&路上駐車減を目指した、広報活動をします。 ● コロナ禍での閉塞的な暮らしから脱却するためのアイデアを募り、実施していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境の充実があってこそその元気なまちづくりを目指したい。 ● コロナ禍の影響で孤立し、苦勞している多世代の住民(特に高齢者)を救える手立てを講じたい。 	元気いっぱい その他

新本牧地区

5年後の目指す姿

新本牧は「あいさつ」でまちづくり
～広げよう！つなげよう！「人の和」～



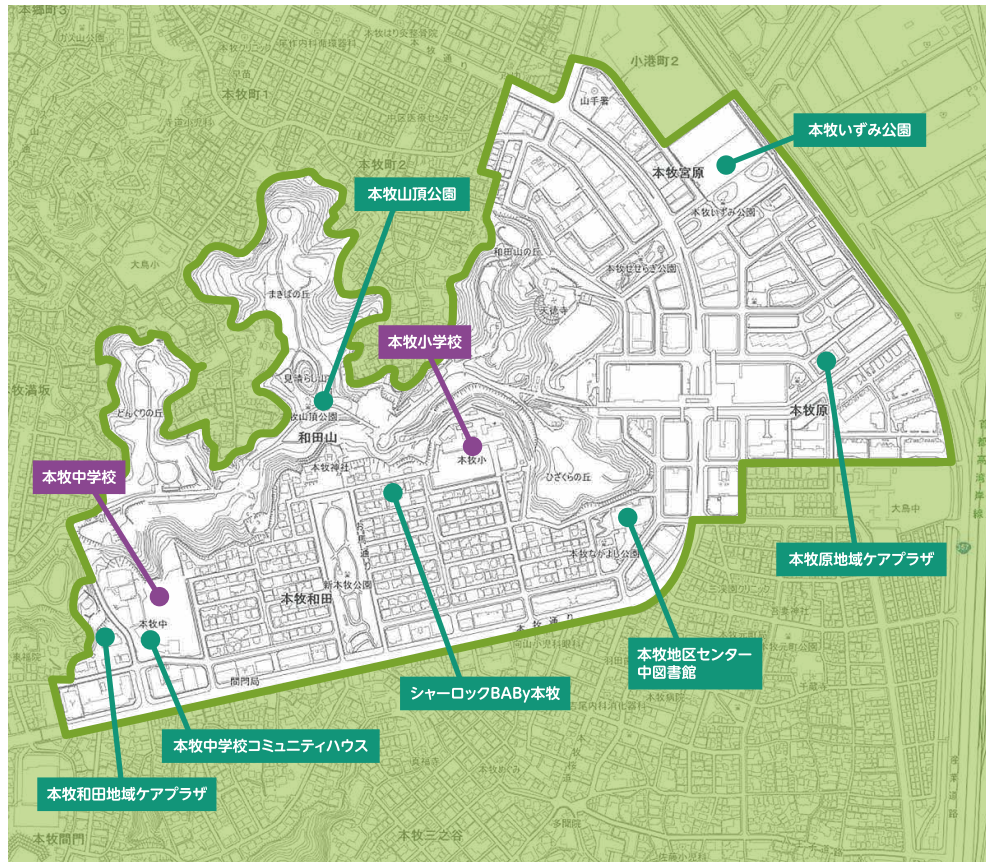
本牧ライトアッププロジェクト ▲



みどり会（地区社協）のお弁当配布 ▲

新本牧地区は こんなまちです

米軍の接收地だった土地を新たに開発してできた地域で、開発とともに移り住んだ住民が多いまちです。区画整理により公園や緑に囲まれ、道幅も広く景観が良いのが特徴です。地域の担い手として、現役世代が多く活躍しています。



本牧宮原・本牧和田・和田山・本牧原の一部

これまでの計画(第3期)の振り返り

あいさつ運動を計画前期で実施し地域の子どもたちと住民の交流が少しずつ進みました。

計画前期に小中学生に地域のイベントに参加してもらい内容の充実を図りました。

3地区(第4地区南部、本牧・根岸、新本牧)共催のイベントを開始し5年が過ぎ、地区の住民に浸透していきました。

高齢者食事会や日帰りバス旅行の充実を図りました。

第4期計画

目標	第4期の取組
<p>子どもを中心に地域を盛り上げ、困りごとを速やかに察知できる関係を作っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地元の小中学校の行事や取組に関心を持ち、子どもたちとの交流を深め、街中でも気軽に「あいさつ」できる環境を目指します。 ● 中学校の朝の「あいさつ」運動に参加し、顔の見える関係を作ります。 ● 高齢者(食事会・サロン等)の集う場に子どもたちが参加できる機会を増やします。
<p>交流の場を充実し、多世代に渡って助け合えるまちを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域にある施設や団体、企業と協力関係を深め、地域での参加の輪を広げていきます(施設・団体・企業の行事に積極的に共同参加する)。 ● 各自治会のラジオ体操を充実し、健康づくりをしながら様々な世代の交流を深めます。 ● 夏の神社例大祭を通じて住民の交流を促進します。
<p>環境面から住みやすいまちづくりを通して、住民が健康で安全に暮らせるようにします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 各自治会の清掃活動を充実させまち全体をきれいにします。 ● 地区や自治会主催の防災訓練により多くの住民の参加を促していきます。 ● 警察や自転車販売店と協力し、自転車マナー向上&路上駐車減を目指した、広報活動をします。 ● コロナ禍での閉塞的な暮らしから脱却するためのアイデアを募り、実施していきます。

第4期計画はこのようにつくりました

自治会町内会長、地区民児協、区民利用施設や福祉施設などで構成された「新本牧地区元気づくり推進協議会」で実施したアンケートをもとに計画の原案を作成し、それについて再び意見をもらい、計画を完成させました。

nakanaka photo



本牧ライトアッププロジェクト



みどり会(地区社協)のお弁当配布



取り組む理由

視点

- 地元の学校と連携し、地域のイベントなどに小中学生が積極的に参加できるような雰囲気になりたい。
- 全ての世代で困った事があったときに、お互いにすぐ、気づけるよう見守り合いたい。

えん結び

- イベントに参加する事により、普段からお互いに「あいさつ」し合える関係を作るようにしたい。
- 交流により親しく知り合い、多世代に渡って助け合えるようにしたい。

えん結び
元気いっぱい

- 環境の充実があってこそその元気なまちづくりを目指したい。
- コロナ禍の影響で孤立し、苦勞している多世代の住民(特に高齢者)を救える手立てを講じたい。

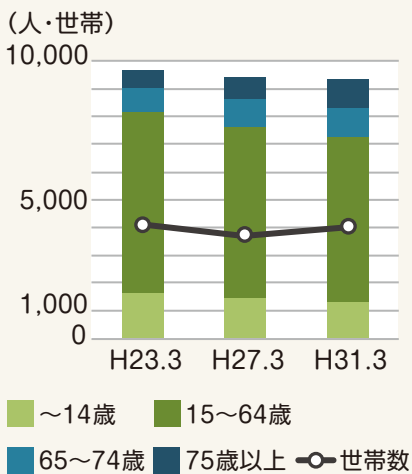
元気いっぱい
その他

新本牧地区の統計データ

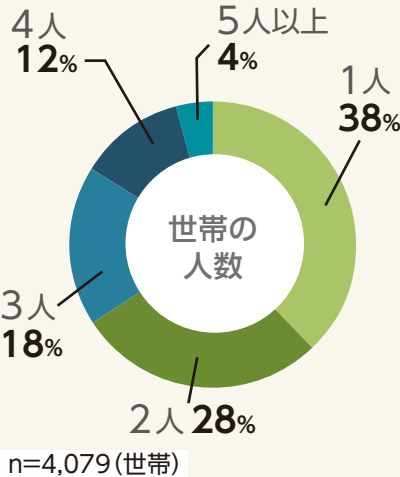
人口動態

調査年	人口(人)	～14歳(人)	15～64歳(人)	65～74歳(人)	75歳以上(人)	高齢化率(%)	世帯数(世帯)	世帯平均人数(人)
H23.3	9,627	1,645	6,513	710	759	15.3	4,099	2.35
H27.3	9,415	1,461	6,180	917	857	18.8	3,976	2.37
H31.3	9,287	1,319	5,911	1,024	1,033	22.1	4,079	2.28

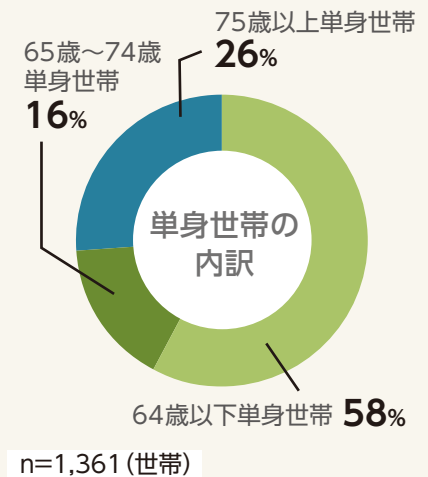
人口・世帯数の推移



世帯の状況 (H31.3現在)



単身世帯の状況 (H31.3現在)



世帯数・単身世帯の推移

調査年	世帯数総数(世帯)	単身世帯総数(世帯)	単身世帯割合(%)	65歳～74歳単身世帯(世帯)	75歳以上単身世帯(世帯)	65歳以上2人世帯(世帯)
H29.3	4,030	1,301	32.3	218	393	404
H31.3	4,079	1,361	33.4	238	421	408
R2.3	4,100	1,378	33.6	245	441	418

※人口・世帯データの出典は横浜市統計情報ポータルより

住民の居住年数

(H27 国勢調査より)

居住年数	人数(人)	割合(%)
出生時から居住	543	5.7
1年未満	783	8.3
1年以上5年未満	1,962	20.8
5年以上10年未満	1,475	15.6
10年以上20年未満	1,800	19.0
20年以上	1,317	14.0
居住期間「不詳」	1,569	16.6

データから見た新本牧地区

人口はやや減少傾向にあります。特に勤労世代の人口が減少しており、高齢者人口が増加しています。平成27年には18.8%であった高齢化率は平成31年には22.1%に上昇しています。

単身世帯の割合は33.4%(H31)と低く、世帯平均人数も2.28人と区内では一番多くなっています。14歳以下の子どもの割合も14%と区内では高く、ファミリー層が多く居住していることがわかります。

一方で住民の居住年数を見ると、長年居住している割合が高く、今後はさらに高齢化が加速していく可能性が高いと思われます。